

青少年演劇のまち、高島市

# びわこ青少年演劇講座

Vol.3 「演劇を楽しもう！演じてみよう！」

## 報告書



2008年12月20日(土)~21日(日) 1泊2日

高島市 藤樹の里文化芸術会館

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！



## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 参加者名簿

	氏 名	性別	所 属	備 考
	大峰 順二	男	講 師	
1	饗庭 美咲	女	高島高校演劇部	
2	上田 美樹	女	高島高校演劇部	
3	枝 尚紀	男	高島高校演劇部	
4	柿本 昌信	男	一 般	
5	川越 星斗	男	高島高校演劇部	
6	熊野 恵太	男	安曇川高校演劇部	
7	栞原 若菜	女	高島高校演劇部	
8	小島 聖弥	男	安曇川高校演劇部	
9	後藤 真由	女	安曇川高校演劇部	
10	坂川 直人	男	高島高校演劇部	
11	志村 裕司	男	高島高校演劇部	
12	多谷 冬樹	男	演劇集団つばめ	
13	寺尾 賢人	男	安曇川高校演劇部	
14	本庄 知佳	女	高島高校演劇部	
15	松永 宗明	男	安曇川高校演劇部	
	加藤 智彦	男	藤樹の里文化芸術会館	

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■12月20日（土）

- 13：30 オリエンテーション
- 13：40 自己紹介
- 13：50 質問タイム
- 15：00 基礎練習1「本読み1」
- 18：00 夕食
- 19：00 基礎練習2「本読み2」
- 21：00 宿舎へ移動
- 22：00 就寝

### ■12月21日（日）

- 8：00 起床、朝食、会場へ移動
- 9：00 ワークショップ（発声）
- 9：30 基礎練習3「本読み3」
- 11：00 発表
- 12：30 質疑応答  
アンケート記入等
- 13：00 解散

### ■講習会場

#### 高島市 藤樹の里文化芸術会館

〒520-1224 滋賀県高島市安曇川町上小川106

電話／0740-32-2461 FAX／0740-32-2460 メール／bungei@city.takashima.shiga.jp

### ■宿舎

#### 丸三旅館

〒520-1212 滋賀県高島郡安曇川町西万木1045

電話／0740-32-1339 FAX／0740-32-3393

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■びわこ青少年演劇講座・講評

大峰順二

#### ■今年度の演劇講座

今年度の演劇講座、初回は演劇の構成要素とそれぞれの意味について学んだ。「やる人」「観る人」「場所」の3つの要素がそろわなければ演劇は成り立たないというところからはじめ、台本の読み方、演技、演出、照明、音響、衣装……と、具体的に分け入り、その意味合いや役割を学んだ。その上で台本を書いてみるという作業に挑戦した。2回目は「俳優に求められる肉体訓練と声の出し方」、そして、台本の読み方について学んだ。テキストにブラジルの名作と言われる「狐とぶどう」を選び、作者はどんな人間を描こうとしていたのかという探求を進め、作品の深部に迫った。いい台本ほど奥行きがあるということを理解してもらえたのではないかと思う。

3回目、今回は山田洋二の書き下ろし落語「めだま」を借用、それを脚色し、テキストとした。せりふの裏に隠された気持ち、相手のせりふに耳を澄ますことの大事さ、そして心地よい台詞運び（テンポ）などについて学習した。

#### ■振り返り

今年度を振り返っての印象。それは参加者の「熱心」である。台本を書いてみるというプログラムではみんな徹夜に近い状態で仕上げたし、台本の読み方では、ああでもない、こうでもないと頭から油が出るほど真剣に考えた。そして、最終回の「笑いを生み出す」という課題には「身を挺して」挑戦した。回数（3回）と日程（1日半）からすれば、各回とも少々欲張りすぎたプログラムであったと思うが、演劇の奥の深さ、楽しさは理解してもらえたのではないかと思う。参加者は毎回15名前後であった。しかし、一般の参加者は数えるほどしかなく、そのほとんどが高校の演劇部員であった。もう少し一般の方々にも参加していただき、演劇の「楽しさ」を知ってほしいという思いは残るが、未来を担う若者たちに「種を蒔く」という意味では極めて有意義だったのではないかと思う。

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■びわこ青少年演劇講座・講評

#### ■これから

演劇は「コミュニケーションの再創造」と言い換えてもいいのではないかと思う。とりわけ他者との関係が希薄になり、人々の孤立が進む時代、演劇体験を通して、本来の人間関係を見つめなおし、コミュニティを再構築していくことは、人間らしさを取り戻す意味でも大切な作業であるといえる。また、台本を探し、あるいは書き下ろし、稽古を重ね、多くの人の協力を得ながら、本番を迎える工程は、理屈抜きに「協力・協同」のすばらしさを教えてくれる。これもまたコミュニティの再構築に大きな役割を果たす。

演劇講座は、そうした営みの基礎学習の場である。この講座もまた人づくり、まちづくりへとつながっていく一筋の道であることを私は確信している。次回の演劇講座が開催されるならば、今度こそ、市民参加を強く呼びかけたい。そこで、世代を超えた人々が意見を交わし、ひざを突き合わせながら、「演劇を創造」することの楽しさを共有してもらいたい、と思う。「演劇のある町」を標榜している高島市。そこには、魅力あるコミュニティの創造に挑戦する町という決意がこめられているのではないかと思う。だとすれば、その役割の一端を担うものとして演劇講座もまた重要な取り組みの1つとなる。

# びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

## ■受講生アンケートより

### 1 演劇講座に参加しようと思ったきっかけについて

前回は参加したから（4） 演技力向上（4） 部活の案内（2） 所属劇団の案内（1） 声優になりたい（1）  
自己宣伝（1） 演劇の知識を学びたい（1） 台本が読めるようになりたい（1）

### 2 演劇講座の内容について

とてもよかった（13） よかった（2） ふつう（0） よくなかった（0） とてもよくなかった（0）

#### （よかった理由）

- ・今まで困っていたことがすっきりした
- ・自分自身の課題が再確認できた
- ・普段教わることのないことを教わった
- ・本がおもしろく、講師に的確に教えてもらった
- ・台本の読み方が分かった
- ・わかりやすく何度も説明して下さった
- ・知らないことを知ることができた
- ・友人が増えた

### 3 今後受けてみたい演劇講座の内容について（3つまで選択可）

戯曲（7） 演技（10） 演出（9） 舞台美術（4） 照明（3） 音響（2） 制作（3）  
衣装・メイク（1） 小道具（0） その他（1）

### 4 演劇講座の期間（1泊2日）について

長い（0） ちょうどよい（6） 短い（9） その他（0）

### 5 宿舎について

よかった（7） ふつう（5） よくなかった（0） 宿泊していない（3）

### 6 演劇講座で印象に残っていることについて

※感想文に記載

### 7 演劇講座に対する意見・感想など

※感想文に記載

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■感想文集

後藤 真由

私は今回で2回目の参加でした。少しでも前回のことをいかせていれば幸いです。今回の講座では、台本の読み方、セリフを言葉にする等、前回とは少し違った形での進行でした。今回の台本「めだま」では私は、若旦那の役をやりました。実を言うと初めての男性役で、上手くできるか不安はありましたが、なんとかやりとげることができたかと思っています。でも、気持ちの変化のタイミングを逃してしまっていたりとまだまだ甘いところも多く、むしろ甘いところの方が多いと思っていますので、これからもたくさん勉強をして自分の演技の幅を広げていきたいと思っています。

明日からは学校の部活に戻るわけですが、昨日、今日と学んだことを、後輩たちに教えていきたいと思っています。

松永 宗明

この演劇講座で一番印象が残っていることは、台本を言葉として行動する2日目の基礎学習4と5だろう。自分はどうしようと頭の中で指揮するのだけれど、どうも身体というか、逆にテンぱりうまくいくことができませんでした。それをくやしく思いましたが、先生が、この先にやっていけばよいよといったありがたいお言葉をいただき、本当に助かりました。今後の自分への目標は協調性を生み出すこと、そして己の悪いところを見つけ、ただすことだとこの講座で学び取りました。

今後また機会があれば、この講座にまた参加したいです。そしてこの講座が長く続きますことを心より願います。

枝 尚紀

第1回るときから、演劇講座に参加させてもらっていますが、毎回毎回楽しいことはもちろん、自分の駄目なところを気付かせてもらえる本当にプラスになることばかりで、自分にはここが足りなかったんだとか、こういう表現方法があるんだとかいろいろと吸い取れるものは吸い取れたと思うので、これからこの講座で得られたものを大切に、自分の感性を大切にということ意識してこれからの演劇活動にいかしていけないといけないということを今回一番感じさせていただきました。

今回のテキストが落語を脚本に直されたもので、最初は難しかったけど、深く深く掘り下げていき、見えていなかった台詞の意味を理解できるように少しずつなってきた、だんだん楽しくなって行って、何回も聞いているのに笑ってしまうところがあったりと、台本の奥深さというものをあらためて実感した講座でした。

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■感想文集

寺尾 賢人

僕は演劇部に入っているのですが、自分の演技力のなさに悩んでいて、何かキッカケでもと思い、この演劇講座に参加しました。2回目の参加だったのですが、今回も台本を深く読みこむことの楽しさを学ぶことができたのと、自分の演技についての新しい発見があったように思います。2日間という短い時間ではありましたが、学べたことは多かったです。普段は台本をこんなに読み込まないので、しんどいところもありましたが、今回のことを部活でもいかせていけるとよいと思います。テキストの台本にはかなり書き込みをしたので、あとは家に帰って復習して先生の言われたことを一つでも多くできるようにになりたいです。先生はさすがにいろいろな国で仕事をしているだけあって話もおもしろく、とにかく僕にとって実りの多い、ステキな2日間でした。また次も参加したいです。

志村 裕司

何度も演劇講座に参加していますが、回を重ねるにつれて、自分の成長が見えたり、課題を見つけられたりしてよかったです。

台本を読む。この仕事だけで、とても長い時間をかけないと本当の中身が見えてこない気がして、ますます演劇の楽しさを見つけられた気がします。

テキストの台本も、おもしろくて読めば読むほど他の役もやってみたいと思いました。また参加できる機会があれば、もっといろいろなことに挑戦していきたいです。

川越 星斗

今回で自分にとって3回目の講座で、最近は特に自分の演技に自信が持たなくて悩んでいた時期に演劇講座のお知らせがきて、絶対に参加しようと思っていました。今回は落語風の台本を読み解いていく中で、読むテンポを考えたり、相手の台詞を聞くことで自分の台詞を言うということなど、いろいろな要素をふまえて、おもしろくしていく方法を学びました。どれもなかなか難しく、番が回ってくるたびに、次はここを気をつけていこうと決めて、夢中で読みました。そうしていく中で、読んでいて楽しいと思えるようになっていき、おバカになれたと思います。

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■感想文集

上田 美樹

昨日、今日と2日間の演劇講座を通して、普段、何も考えずにとりあえず読んでいた台本の本当の読み方や読み取り方を学びました。

一応私も台本を読み取ることは毎回していましたが…それはもう読んでいないに等しいことも思い知らされて今度からは今までの数十倍の時間をかけて台本の中の人物の性格や心情の変化、ここでは世界は何を中心に回っているのかなど、深いところまで読み取れることができるように毎回毎回じっくりと台本と向かい合いたいと思います。

台本のこと以外にも発声や台詞の言い方などの課題が自分の中で再発見されたことも多々あったので、台本と並行して毎回少しずつ直せるような努力をしていこうとも思っています。

今回の講座で基本だけど忘れやすい大切なことをたくさん教えていただいたので、本当に講座を受けてよかったです。

熊野 恵太

今回で3回目の参加になりましたが、前回と同じく、やっぱり台本は難しいと、感じます。前回の講座で多少知った気になっていたんですが、まだまだ浅い。自分の底がまだまだ浅いと感じざるを得ないと、やはりプロは違いますね。でも、講座を受けるたびに感じるのは自らの成長ですので、悪い方向には向かっていることはないでしょう。次に講座を受けるときにはもっと深く講座を理解できるようになっているといいですね。苦勞して過ごすとしましょうか。

柿本 昌信

落語は一人芝居ができるので一人で練習するには役に立つことが分かった。練習用のテキストが手に入ってよかった。台詞の話し方で一番勉強になったのは、早口にならないということです。やっぱり、はずかしさや自信のなさから早く終わらせようとしているのかもしれない。大峰先生もおバカになれ、自己を開放せよと言ってらしたが、ちょっとでもそうすることが早口を直したり、自己表現ができる道だということが分かった。自分自身自己中心的なところがあるが、相手のセリフに乗って自分も話すという姿勢は社会性や対人関係の向上に役立つ。舞台では自己解放して真実味を出せ、真に泣き、怒り、笑うことが観客に信頼を与えて舞台を観てやろうと舞台をホンマものにするということがよく分かった。参加回数を増やすだけでなく、自分自身の演技の弱点が分かったので、克服する努力をしようと思う。立ち稽古をやれば両輪になるのですべきだ。

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■感想文集

小島 聖弥

今回初めてこの演劇講座に参加しましたが、今回は本当にいろいろと役に立つようなことばかり教えてもらってありがとうございます。

今回は台本を読んで演技を楽しく演じてみよう…ということなので、1日目は自己紹介が終わったちょっと後、すぐに3チームに分かれて台本を読みました。まあ最初のあたりは、ただ単に感情を入れて読んだだけですが、先生のアドバイスで、バカ（ノリノリ）で読んでみたところ、自分がやりたい感情が出てきて楽しんでできることができました。

とにかく、今回の演劇講座で一番心に残っているのは、「楽しく、バカになり、自分を解放して台本を読む」というのが心に響きました。

次の演劇講座は何をするかは分かりませんが、自分の将来のために、役に立たすために、絶対に参加したいです。

多谷 冬樹

演劇講座に参加させていただいて、最初に思ったことは、高校生ばかりで少し驚いてしまいました。でも、この年になって高校生と一緒に何かをするということはほとんどないことなので、楽しんでやろうと思っていました。意外に、目標というかめざしているものが一緒だと、年齢などは意味を持たないことが分かり、結構楽しむことができてよかったです。あと、大峰さんの話を聞いているうちに、普段の生活の中で、自分がとても他人と交流を持っていないのかと思ってしまいました。普段の生活、主に職場での交流、サービス業なので、お客様とは深い交流はできないにしても、従業員同士はなるべく頑張りたいと思います。つばめのメンバーとは同じ目的、目標を持っているのですが、交流は自分では出来ていると思っているのですが、今まで以上に交流を深め、より良い集団になれるように、今まで以上にハリキっていきたいと思いました。

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■感想文集

栞原 若菜

この2日間の演劇講座に参加して、自分の中に残ったことが多くあります。私は高校から演劇に興味を持ち始めて、4月に部活に入部してから今までしっかりと知識もないまま続けてきてしまっていて、今回の演劇講座で少しでも多く演劇の知識がつけば、と思い参加しました。

今回は演技を忠伸として講座で、台本の読み方や感じ方、その人の気持ちの読み取り方、発声の仕方など多くのことを教えていただきました。私はこの2日間「口上人」をやりました。でも、なかなか上手く「口上人」をつかむことができませんでした。最後の発表の後にも、「お客さんも一緒に巻き込んで、話に引き込む」という大きな課題が残りました。でもこの課題は、これから演劇を続けていく中でも課題でもあるので、少しずつ克服していきたいと思います。今回参加して本当に良かったです。

坂川 直人

今回2回目の参加をさせてもらって、すごく自分が台本をどう読めばいいのかが理解でき、どう考えればいいのか分かりました。これからの演劇部生活にさらに役立つことを教えていただけました。

この講座で印象に残ったことは、裏の台詞を読み込むということと、自分を観察（もう一人の自分、観客である自分）するということです。この2つのことが自分にとって一番今回大切にしようと思いました。そのことを守って、これからの演劇をするにあたって、これをその目標にしてがんばっていきたいと思います。そして、また次回、来るときにはその目標を達成しているように努力していきたいです。

次回では、何をするか分かりませんが、ぜひ参加させていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

## びわこ青少年演劇講座 Vol.3 演劇を楽しもう！演じてみよう！

### ■感想文集

本庄 知佳

この演劇講座に初めて参加して、自分は今まで演劇に対してそんなに深く考えていなくて、生半可な気持ちで演技をしていたんだなと、実感しました。

今回のこの講座は台本が持っている本当の意味を読み取るということで、講座が始まる前に事前に渡されていた台本の本読みをやったんですけど、自分が何も台本の真意を読み取れないことを思い知らされました。

でも、大峰さんに、台本が求めているリズムやテンポがあってそれを読み取って演じることや、登場人物がここに存在しているまでの経緯やその心情を読み取って演じること、演劇的体験など、台本を読み取ることでの重要なポイントをこの講座を通じて教えていただけたので、これから劇を演じていくうえで、それらに注意してよりよい演技をしていけるように心がけていきたいです。

饗庭 美咲

私のキャスト出演回数は片手で足りる程度のものですが、この回数の数だけ挫折してきました。舞台に立った瞬間ねずみ花火かというようにしゃべって走ってそでに逃げ込む、終わってからビデオを見てなんだこれと落ち込む、とそれの繰り返しで今までやってきました。

まあ、1日2日で人間が変わるわけでもなし、結局2日目も暴走してしまいましたが、違う目線を見つけられたと思います。私は口が早くとにかく持った台詞に気を使い、上手に言わねばとそれをがんばっていました。しかしそれはおいて置いて、人の台詞に耳を貸してみました。相変わらず高速口調ですが、初めて他の役者と会話らしい台詞をかわした気がしました。正直しゃべってて楽しかったです。自分がその世界にちゃんと立っているのが分かりました。まあ今後課題は山積みですが、発見の喜びはやはり最高でした。

**びわこ青少年演劇講座 Vol.3 報告書**

**発行日：2008年12月26日**

**編集・発行：高島市 藤樹の里文化芸術会館**

**〒520-1224 滋賀県高島市安曇川町上小川 106**

**電話/0740-32-2461 FAX/0740-32-2460**

**メール/bungei@city.takashima.shiga.jp**